


















令和 6 年度国際理解ワークショップ 進行シート

令和 6 年 9 月 11 日作成

大学名： 新潟国際情報大学

タイトル： Be Real～お互いを尊重できる未来へ～

1. 本ワークショップに関連する SDGs の目標に○印をつけてください。

○印	SDGs17の目標	○印	SDGs17の目標	○印	SDGs17の目標
	 ① 貧困をなくそう		 ⑦ エネルギーをみんなに そしてクリーンに		 ⑬ 気候変動に 具体的な対策を
	 ② 飢餓をゼロに		 ⑧ 働きがいも 経済成長も		 ⑭ 海の豊かさを 守ろう
	 ③ すべての人に健康と 福祉を		 ⑨ 産業と技術革新の 基盤をつくろう		 ⑮ 陸の豊かさも 守ろう
	 ④ 質の高い教育を みんなに	○	 ⑩ 人や国の不平等 をなくそう	○	 ⑯ 平和と公正を すべての人に
	 ⑤ ジェンダー平等を 実現しよう		 ⑪ 住み続けられる まちづくりを		 ⑰ パートナリーシップ で目標を達成しよう
	 ⑥ 安全な水とトイレを世 界中に		 ⑫ つくる責任 つかう責任		

2 : 本ワークショップの要旨

人と違うってダメなことなのか。なぜ私たちは異質なものを受け入れられないのだろうか。人の目を気にするのはなぜなのか。

本ワークショップでは、私たちの身のまわりで起こっている「無意識の決めつけ」に焦点を置き、参加者に一人ひとりの個性を尊重できるきっかけをつかんでほしい。

3 : 本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

「無意識の決めつけ」は、相手に対して無関心であることから起きているのではないかと考える。そのため、本ワークショップでは、まずは何事にも関心を持ってもらうことの大切さを伝えることを目的としている。

4 : 本トピックをとりあげる理由

現代には様々な問題が起きているが、関心を持たなくても生活はできるため、多くの事には無関心である。そして、問題などだけでなく、人に対しても、無関心であることにより、決めつけを行ってしまっている可能性があるため。

5 : 活動過程 <<使用時間 : 11:00~12:30 90分 (予備 : 10分)

参加人数 : 2年7組 35名>>

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・ 説明・動きなど	ねらい	使用する 教材・備品	予想される反応、 その他注意事項
導入 : 起 (13分)	あいさつ (1分)	大学生が前に出 て簡単な自己紹 介をする。	大学生の名 前を知って もらう。	ベル 名札 5×7 プロジェクタ ー ポインター	
	SDGs (1分)		該当する SDGs の番号 を知っても らう。		
	ワークショッ プ、ゴール・ 流れ、ルール の説明 (2分)	この活動のゴー ル「決めつけと 共に生きるため にはどうするか 考えよう」を参 加者に知っても らう			
	ウソ・ホント 自己紹介ゲー ム (9分)	①参加者が考え てきた自己紹介 を紙に書く ②班に共有して どれが嘘か参加 者が考え、当てる	参加者が活 動に取り組 みやすいよ うになって もらう	裏紙 5×7	
			この後のワ ークで必要 となる想像 力を働かせ てもらう		

<p>展開：承 (9分)</p>	<p>【気になったこと・気づいたことを書いてみよう！】 (9分)</p> <p>気になったこと・気づいたことの説明(1分)</p> <p>①写真を見て気づいたことや背景を考える(5分)</p> <p>②写っている人の気持ちを考えてみる(3分)</p> <p>休憩：10分</p>	<p>1枚の写真を見てもらい、気づいたことや思ったことを模造紙に貼る</p> <p>写っている人の1人1人に焦点を当てて、気持ち(感情)を想像したことを模造紙に貼る</p>	<p>目を向けることが大切と気づいてもらう</p> <p>写真に写っている人や出来事に対して関心を持ち、想像する力をつけてもらう</p> <p>写真に写っている人の気持ちを考えることでより身近に感じてもらう</p>	<p>・写真+模造紙1×7 ・写真×7 ・ペン 6×7 (参加者人数とチーム大学生分)</p> <p>①黄色付箋×7</p> <p>②青色付箋×7 ・NVCの用紙2×7</p>	<p>このワークに正解・不正解はなく、写真について「想像して、関心に向ける」ということに取り組んでもらいたいため、どんなことでも意見を出してもらいたい。</p> <p>参加者同士が対話できるように大学生は問いかけを投げかける。</p> <p>②を行う際に行き詰った場合、NVCの用紙を用いてみてください。</p>
----------------------	---	--	---	--	--

<p>発 展 : 転 (38分)</p>	<p>前半の振り返り(1分)</p> <p>①写真に関する情報を開示(13分)</p> <p>②もう一度写っている人の気持ちを考えてみる(5分)</p> <p>③模造紙を見て振り返る(5分)</p> <p>④まとめ(3分)</p>	<p>実際に何が起きていたのか情報を共有する</p> <p>写っている人の1一人ひとりに焦点を当てて、これまでの過程を参考に気持ち(感情)を想像したことを模造紙に貼る</p> <p>付箋の色ごとに経過を見て個人で振り返りシートに書き込む</p> <p>このワークを通して伝えたいことを伝える</p>	<p>事実を知ってもらう</p> <p>写真だけの情報が全てじゃないことに気づいてもらう</p> <p>見たものが全てではないと伝えたい</p> <p>・関心に向けることが大切</p> <p>・自分の考えはすべてじゃない</p> <p>・本当のこと(コンテキスト, 状態)を知る大切さ</p> <p>上記をこのワークを通して伝えたい</p>	<p>②緑色付箋 ×7</p> <p>まとめの紙 ×3枚×7</p>	<p>②を行う際に行き詰った場合、NVCの用紙を用いてみてください。</p>
--------------------------	---	---	--	--	--

	【問いかけ】 決めつけを減らすにはどうする？ (11分)	提示した問いに対して一緒に考えて模造紙に貼る	決めつけとどう向き合うか一緒に考えてもらう	・模造紙 ・ポストイット×7	
まとめ：結 (10分)	振り返り 私たちの伝えたいこと (5分) QRコード・で 振り返る(5分)	一部の情報だけで判断することは人、出来事に対して無関心であることから起きているのではないか ⇒どんなことでもまずは関心を向けてみることの大切さに気付く。	身近な問題と世界での出来事に関心を向ける、想像することは自分の身近な問題ととらえてもらう第一歩!!	・QRコード 5×7 ・お土産シート5×7	
予備：10分					

6：会場のセッティング（対面の場合のみ）

座って活動を行う

7：使用する教材

・(2020). 『Reflections on the Greensboro Lunch Counte』 [動画]. Youtube. 2024/09/05, <https://www.youtube.com/watch?v=uFQ3ZCgAA0>.

8：参考にした資料

- ・本田創造（1991）『アメリカ黒人の歴史 新版』 岩波書店
- ・ジェームズ・M・バーダマン(2007) 『黒人差別とアメリカ公民権運動—名もなき人々の戦いの記録』 集英社
- ・北美幸（2016）『公民権運動の歩兵たち 黒人差別と闘った白人女子学生の日記』 彩流社
- ・Britannica 「sit in movement」 (<https://www.britannica.com/event/sit-in-movement>)
- ・Loki Mulholland. An Ordinary Hero: The True Story of Joan Trumpauer Mulholland. 2013
- ・(2017). 『How a Lunch Counter Sit-In Became an Iconic Civil Rights Moment – SFA』 [動画]. Youtube. 2024/09/05, <https://www.youtube.com/watch?v=mT7xgLIYhaI>.
- ・日本ユニセフ協会.” SDGs17の目標 | SDGs クラブ-日本ユニセフ”. <https://www.unicef.or.jp>

閲覧日：2024年7月25日

9：その他